



ミルク缶を寄贈して頂きました！

村内在住のS様より、ミルク缶を寄贈して頂きました。昭和31年～48年頃まで使われ、ステンレス製で27リットル入ります。集乳缶、牛乳缶とよばれ、前期と後期の2種類あり、寄贈品は後期の物です。



382の数字は家の番号



昭和35年 手絞り



リヤカーで集乳所まで牛乳運搬

六ヶ所村の開拓の歴史では、昭和28～29年の連続の冷害により、昭和29年に各地で畑作から酪農に転換しました。ジャージー種を導入し、昭和31年頃から出荷がはじまり、昭和35年には機械開墾が行われました。乳牛はジャージー種からホルスタイン種にかわり規模が拡大していき、現在では、六ヶ所村の大地は一大酪農地帯となっています。



馬ソリで種畜場まで牛乳運搬



S61年 ローリーでの運搬

令和4年4月16日～6月19日開催の
企画展「郷土を拓いた
人々～六ヶ所村の開拓の
歴史と写真展～」で
ミルク缶を展示します！

北部上北酪農業協同組合 昭和61年
『30年のあゆみ』より転載

